

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	IgM型ALアミロイドーシスに関する調査研究
研究責任者	血液内科 部長 石田 禎夫
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	<p>ALアミロイドーシスは、異常形質細胞が単クローン性に増殖し、その産物であるモノクローナル免疫グロブリン(M蛋白)の軽鎖(L鎖)に由来する不溶性のアミロイド蛋白が、あらゆる臓器に沈着して臓器障害を来す疾患であり、発症頻度は100万人に3~5人程度といわれている稀な疾患です。その中でもIgM型ALアミロイドーシスはALアミロイドーシスの一部にみられるまれな病型で、他のtypeのALアミロイドーシスに比べ治療に反応しにくい、予後が不良であるなどの特徴を持っています。そのため、他のALアミロイドーシスとは異なる治療戦略が必要となってきますが、上記のように患者さんの数が少ないため、詳しいことは分かっていません。</p> <p>そこで私たちは、日本骨髄腫学会、日本アミロイドーシス学会に参加している施設を中心に全国調査を行い、多数例のデータを調査することで本邦におけるIgM型ALアミロイドーシスの診療の実態を調査し、その臨床的特徴・治療について検討し、今後の診断・治療の基礎データとすることに致しました。</p>
研究方法	<p>○対象となる患者さん IgM型ALアミロイドーシスと診断された患者様で成人された方を対象とします。</p> <p>○方法 患者さんの初診から最後の診察までの診療情報(年齢、性別、アミロイドのタイプ、アミロイド浸潤臓器、血液検査・尿検査・骨髄検査のデータ、治療内容、治療に対する反応性、転帰および最終観察日など)を資料として使わせて頂きます。</p> <p>※倫理的配慮について 個人情報保護については十分に配慮して解析を行います。本研究への参加をご希望されても、後に取り消すことが可能です。その場合でも、今後の診療において不利益を被ることはございません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 血液内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：小倉 瑞生 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>